

Windows 10のサポート終了で何が起こる？ 不安や疑問をクイズで解消

Windows 10 のサポート終了（EOS）が目前に迫っている。セキュリティリスクや業務効率への影響を最小限にとどめるために、いつ、どのような準備が必要なのか、クイズ形式で見ていこう。

Q1：Microsoftが公式に定めているWindows 10のサポート終了日はいつか？

- A 2025 年 7 月 15 日
- B 2025 年 10 月 14 日
- C 2026 年 1 月 10 日

正解：B 2025 年 10 月 14 日（米国時間）

Microsoft は Windows 10 のサポートを 2025 年 10 月 14 日に終了する。これ以降は無償セキュリティ更新プログラムの提供を停止し、新たな脆弱（ぜいじゃく）性が発見されても修正しない。その結果、Windows 10 が稼働している PC はサイバー攻撃の格好の標的となってしまう。IPA（独立行政法人情報処理推進機構）も「サポート終了後はセキュリティリスクが高まる」と注意喚起しており、Windows 11 への一刻も早い移行が望まれる。



独立行政法人
情報処理推進機構

[IPAについて](#)
[お問い合わせ](#)
[English](#)
[公式SNS](#)

[目的別に探す](#)

[情報セキュリティ](#)
[試験情報](#)
[デジタル人材の育成](#)
[社会・産業のデジタル変革](#)



情報セキュリティ

[トップページ](#)
[情報セキュリティ](#)
[重要なセキュリティ情報](#)
[2024年度](#)
[Windows 10 のサポート終了に伴う注意喚起](#)

Windows 10 のサポート終了に伴う注意喚起

最終更新日：2024年10月15日

2025年10月14日（米国時間）に、Windows 10のサポートが終了します。サポート終了後はセキュリティ更新プログラムの提供がなくなり、セキュリティリスクが高まります。同ソフトウェア製品の利用者においては、サポートが継続している後継製品、または代替製品への移行などの対応が望まれます。また、OSだけでなく、対象OS上で稼働するアプリケーションもサポートが順次終了していくため、あわせて対策が必要です。

概要

2025年にMicrosoft社が提供しているOSであるWindows 10のサポートが終了します。一般的にサポート終了後は新たな脆弱性が発見されても、製品ベンダによる修正が行われません。よって、脆弱性を悪用した攻撃による情報漏えいや意図しないサービス停止などの被害を受ける可能性が高くなります。対象OSを使用している利用者は、速やかな最新版への移行等の実施が求められます。

対象OSは以下の通りです。

2025年10月14日（米国時間）
Windows 10 Enterprise and Education
Windows 10 Home and Pro
Windows 10 IoT Enterprise

サポートが終了するソフトウェア製品の継続利用に伴うリスク

Windows OSにおける2024年1月から2024年9月までの脆弱性の悪用状況について

CISA(Cybersecurity and Infrastructure Security Agency)により公開されているKEV(Known Exploited Vulnerabilities Catalog)によると、2024年1月から2024年9月までに公開されたWindows OSの脆弱性の悪用を確認されたとする情報で2024年9月時点で15件登録されていることから被害を受ける可能性が高いと考えられるため、Windows OSの脆弱性対策は適切に実施する必要があります。また、その中でもCVE-2024-26169については、ランサムウェアへ感染させることを目的に悪用されているとの情報（2024年9月時点）もあります。

サポートが終了したOSを使用し続け、仮に危険度の高い脆弱性が新たに発見された場合、製品ベンダによる修正等の対応が期待できず、セキュリティリスクを解消することができなくなります。結果として、脆弱性を悪用した攻撃による情報漏えいや意図しないサービス停止等の被害が生じる可能性が高くなります。

情報セキュリティ

重要なセキュリティ情報

重要なセキュリティ情報とは

2025年度 +

2024年度 -

- Microsoft 製品の脆弱性対策について(2025年3月)
- Adobe Acrobat および Reader の脆弱性対策について(2025年3月)
- Microsoft 製品の脆弱性対策について(2025年2月)
- 「UD-LT1」における複数の脆弱性について (JVN#15293958)
- Oracle Java の脆弱性対策について(2025年1月)
- Microsoft 製品の脆弱性対策について(2025年1月)
- Fortinet 製 FortiOS の脆弱性対策について (CVE-2024-55591)
- Adobe ColdFusion の脆弱性対策について (CVE-2024-53961)
- Microsoft 製品の脆弱性対策について(2024年12月)
- Adobe Acrobat および Reader の脆弱性対策について(2024年12月)
- 「UD-LT1」および「UD-LT1/EX」における複数の脆弱性について (JVN#46615026)
- Palo Alto Networks 製 PAN-OS の脆弱性対策について

IPA も「Windows 10 のサポート終了に伴う注意喚起」を行っている (https://www.ipa.go.jp/security/security-alert/2024/win10_eos.html)

Q2 : Windows 10 EOSの期日までにWindows 11に移行できない場合、有償の拡張セキュリティ更新(ESU)プログラムを利用できる。このESUを利用する条件や制限は？

- A Windows 10 Homeエディションの全ユーザーが無償で3年間利用可能
- B 「緊急」「重要」レベルのセキュリティ更新プログラムのみ有償で最長3年間提供
- C 個人ユーザーでも5年間延長パックを購入可能(料金固定)

正解：B 「緊急」「重要」レベルのセキュリティ更新プログラムのみ有償で最長3年間提供

Windows 10 の ESU は、Windows 10 Enterprise や Education など法人向けエディションであれば最長3年間、個人向けでは1年間有償でセキュリティ更新を受けられる。しかし、年単位の契約であること、サポートが限定的であること、年を追うごとに料金が上がる点には注意が必要だ。コストの面でも早期のWindows 11 移行が得策だろう。

製品	延長サポート/ESU 開始日の終了日	ESU (1年) 終了日	ESU (2年) 終了日	ESU (3年) 終了日	セキュリティゾンの種類
Windows Embedded POSReady 7	2021 年 10 月 12 日	2022 年 10 月 11 日	2023 年 10 月 10 日	2024 年 10 月 8 日	クリティカル、重要
SQL Server 2012	2022 年 7 月 12 日	2023 年 7 月 11 日	2024 年 7 月 9 日	2025 年 7 月 8 日	クリティカル
Windows Server 2012/R2	2023 年 10 月 10 日	2024 年 10 月 8 日	2025 年 10 月 14 日	2026 年 10 月 13 日	クリティカル、重要
SQL Server 2014	2024 年 7 月 9 日	2025 年 7 月 8 日	2026 年 7 月 14 日	2027 年 7 月 12 日	緊急
Windows 10***	2025 年 11 月 11 日	2026 年 10 月 13 日	2027 年 10 月 12 日	2028 年 10 月 10 日	クリティカル、重要

Windows 10 の ESU は期間限定で提供される有償サービス (<https://learn.microsoft.com/ja-jp/lifecycle/faq/extended-security-updates>)

Q3 : Windows 11にアップグレードするには、一定のハードウェア要件を満たす必要がある。CPUの要件は？

- A 1GHz 以上のデュアルコア CPU であれば世代を問わずインストール可能
- B 第8世代インテル Core、もしくは同等世代 (AMD Ryzen 2000 シリーズなど) 以降の CPU が必要
- C TPM チップさえ搭載していれば第6世代インテル Core でも公式サポート対象

正解：B 第8世代インテル Core、もしくは同等世代 (AMD Ryzen 2000 シリーズなど) 以降の CPU が必要

Windows 11 のハードウェア要件は、インテルなら第8世代以降、AMD なら Ryzen 2000 シリーズ以降の CPU であることが求められる。これはおおむね2018年以降に発売されたPCが該当し、第7世代以前の古いCPU搭載機は原則として公式サポート外となる。加えて64bitアーキテクチャ、TPM 2.0 チップの搭載、UEFI セキュアブート対応が必須条件となっている。もっとも、これはWindows 11 がインストールできる最低スペックであり、要件を満たしていることが快適に利用できることとイコールではない点に注意が必要だ。

Q4：Windows 11には生成AIを活用したパーソナルアシスタント「Copilot」がインストールされている。どのようなことができるのか？

- A チャット形式で質問すると、文章の作成支援や翻訳、要約などをAIが手伝ってくれる
- B 新種のウイルスをAIが自動分析して駆除してくれる
- C OS内のファイル検索専用のツールで、テキストファイルの内容のみを検索できる

正解：A チャット形式で質問すると、文章の作成支援や翻訳・要約などをAIが手伝ってくれる

Windows 11にインストールされているAIアシスタント機能「Copilot」に、ユーザーはチャット形式でさまざまな指示を出すことができる。「この文書を要約して」「この文章を英語に翻訳して」などと依頼すると、AIがその場で回答や文章を生成してくれる。

AI用プロセッサであるNPUを搭載したCopilot+ PCであれば、同時翻訳付きライブキャプションやPCで表示したものの全てを検索対象とするリコール機能など、先進AI技術を活用した機能が利用できるようになる予定だ。

Q5：Windows 10搭載PCをWindows 11に移行する際はPC本体の老朽化も気になるところだが、ビジネスPCは何年程度を目安に買い替えるのが望ましいか。

- A 4年に一度程度
- B 7～8年は使用し、故障したら随時買い替える
- C 毎年最新モデルに買い替えるのが理想

正解：A 4年に一度程度

PCは購入から4～5年が経過すると、最新機種に比べてCPUやメモリといったハードウェア性能に大きな差が生まれる。この間にOSやソフトウェアのアップデートがあれば要求スペックも上がるため、PCの動作は緩慢になりやすい。さらにPCは通常4年間で減価償却を行うことが一般的であり、税務上も4年サイクルでの更新が合理的だ。減価償却期間が終了するタイミングで新しい機器に更新することで、会計処理の面でもメリットがある。

Q6：「社内で使用している業務アプリケーションが、移行後のWindows 11で動作するか不安、かつメインで利用するアプリケーションがMicrosoft 365 (Office) なのでまだ移行はしなくてもよいと考えている」。これに対して正しい記述は？

- A 99.7%以上のアプリケーションは問題なく動作するが、Windows 10上でのOfficeアプリケーションのサポートはWindows 10と同時に終了する
- B アプリケーションの互換性は保証されないが、OfficeアプリケーションはWindows 10サポート終了後も3年間はサポートが継続される
- C アプリケーションの互換性は保証されないが、OfficeアプリケーションはWindows 10サポート終了後も5年間はサポートが継続される

正解：A 99.7%以上のアプリケーションは問題なく動作するが、Windows 10上でのOfficeアプリケーションのサポートはWindows 10と同時に終了する

Microsoftによれば、Windows 10対応のアプリケーションの99.7%以上はWindows 11上でも問題なく動作するとしており、大きな互換性問題は基本的に起きない。トラブルが発生しても、互換性問題の解決を支援する「App Assure」（Microsoftの法人向けサービス）を無償で利用できる。

一方、Windows 10のサポート終了をもってWindows 10上で動作するMicrosoft 365アプリケーションのサポートは終了する。これ以降、Windows 10上のWordやExcelといったMicrosoft 365アプリケーションには、新機能の追加はもちろん、セキュリティ修正や不具合修正が行われない。

Q7：Windows 11への移行に合わせてPCのリプレースを検討するなら 国産PCメーカーのマウスコンピューターに注目したい。 同社の法人向けサービスや製品の特徴として正しいものは次のうちどれか？

- ・ A 24 時間 365 日体制の国内サポート、最長 5 年の長期保証、用途に応じたカスタマイズ提供など手厚いサービスを備えている
- ・ B 保証期間は 1 年のみだがその分低価格で、大量導入時のサポート対応は基本有償である
- ・ C 海外生産のため納期は不定だが、高級パーツを採用しており性能は国産メーカーより高い

正解：A いつでもつながる国内サポート体制や長期保証、柔軟なカスタマイズ対応など、法人ニーズに応える手厚いサービスを提供している

マウスコンピューターは国内生産・国内サポートによる細やかなサービスが特徴。国内コールセンター（沖縄）による 24 時間 365 日体制の電話サポートは、深夜や休日でもネイティブな日本語でス

ムーズに相談が可能だ。修理拠点も国内 2 か所（埼玉県と広島県）に構えており、サービスセンター到着から 72 時間以内の修理完了・返送を目指している。

法人向けの MousePro シリーズは、3 年間の無償保証に加えて、有償で 5 年まで保証期間を延長可能だ。メモリやストレージの増設、周辺機器のセット販売といった BTO カスタマイズはもちろん、大量導入時の設定作業を代行するキッティングサービスにも対応する。

Windows 10 のサポート終了まで残りわずか。Windows 11 はセキュリティや管理性、生産性向上など多くのメリットがあることを再確認できたはずだ。Windows 10 を使い続けている企業は、この機会に移行スケジュールを立ててほしい。ハイブリッドワークに適した法人向け PC を多数そろえるマウスコンピューターなら、最新の Windows 11 環境を安心して導入・運用できる心強いビジネスパートナーになってくれるはずだ。

ブランドから探す ▾ 形状・タイプから探す ▾ 用途・目的から探す ▾ セール・キャンペーン ▾

🔍 詳細検索

👤 マイページ

🛒 カート

📞 お問い合わせ

AI処理が強化されたモバイルノートパソコン

最新のインテル® Core™ Ultra プロセッサー(シリーズ2)を搭載したモバイルノートパソコン

14型WUXGA液晶 モバイルパソコン



MousePro G シリーズは Copilot+ PC に対応

●お問い合わせ

株式会社マウスコンピューター

TEL（法人）：03-6636-4323（平日：9～12 時／13 時～18 時、土日祝：9～20 時）

TEL（個人）：03-6636-4321（9 時～20 時）

メールアドレス：houjin@mouse-jp.co.jp

お問い合わせフォーム：<https://www.mouse-jp.co.jp/store/business/contact.aspx>

※この冊子は、ITmedia ビジネスオンライン（<https://www.itmedia.co.jp/business/>）に 2025 年 5 月に掲載されたコンテンツを再構成したものです。
<https://www.itmedia.co.jp/business/articles/2505/14/news004.html>

copyright © ITmedia, Inc. All Rights Reserved.